

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年10月16日(2014.10.16)

【公開番号】特開2013-55437(P2013-55437A)

【公開日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-014

【出願番号】特願2011-191222(P2011-191222)

【国際特許分類】

H 04 N 1/00 (2006.01)

H 04 N 1/10 (2006.01)

H 04 N 1/107 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/00 108 Q

H 04 N 1/10

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月1日(2014.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回動支点周りに回転することで原稿読取装置本体に対して開閉可能に構成され、原稿台に載置された原稿を押圧する原稿押圧部を備えた原稿読取装置を有する画像形成装置において、

前記原稿押圧部を保持する原稿押圧部保持手段を有し、

前記原稿押圧部を開じ状態から開いていくと、前記原稿押圧部保持手段は、前記原稿押圧部の前記回動支点の位置を前記原稿台を基準として、上方に移動させることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記原稿押圧部を開じ状態から開いていくと、前記原稿押圧部保持手段は、前記原稿押圧部の前記回動支点の位置を上方で且つ前記原稿押圧部の開放側に移動させることを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記原稿押圧部保持手段は、前記原稿押圧部の開閉動作に連動するリンク機構を有し、前記リンク機構は、前記原稿押圧部の自重に拮抗する付勢部材を有することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記付勢部材の押圧力を調整する押圧力調整手段を有することを特徴とする請求項3に記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記原稿押圧部は、複数の原稿を自動搬送する自動原稿搬送装置を有することを特徴とする請求項1～4のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項6】

前記原稿押圧部の閉動作時に負荷を与える減衰手段を有することを特徴とする請求項1～5のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項7】

前記減衰手段は、前記原稿押圧部の閉動作時にのみ負荷が作用する一方向減衰手段であることを特徴とする請求項6に記載の画像形成装置。

【請求項8】

前記原稿押圧部保持手段は、前記原稿押圧部および前記原稿読取装置に対して着脱可能に設けられたことを特徴とする請求項1～7のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項9】

前記原稿押圧部保持手段は、前記原稿押圧部の開閉可能範囲内に該原稿押圧部の中間停止位置を有し、前記原稿押圧部の全開状態から前記中間停止位置までの範囲にある該原稿押圧部は、外部からの付勢力が無い限り前記中間停止位置まで徐々に降下して該中間停止位置で停止することを特徴とする請求項1～8のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記目的を達成するための本発明に係る画像形成装置の代表的な構成は、回動支点周りに回転することで原稿読取装置本体に対して開閉可能に構成され、原稿台に載置された原稿を押圧する原稿押圧部を備えた原稿読取装置を有する画像形成装置において、前記原稿押圧部を保持する原稿押圧部保持手段を有し、前記原稿押圧部を閉じ状態から開いていくと、前記原稿押圧部保持手段は、前記原稿押圧部の前記回動支点の位置を前記原稿台を基準として、上方に移動させることを特徴とする。